

令和7年
2月7日

No.85

ぎ かい の 広 場

市民と議会のかけはし

高 校 生 と 議 会

CONTENTS

特集「高校生と議会」	2
一般質問	4
議案解説	11

賛否結果一覧	12
議会報告会結果・ 公共交通対策特別委員会報告	13
お知らせ	14



特集

高校生 と 議会

昨年の7月から10月にかけて、議会改革推進特別委員会では、市内の新島学園高等学校、松井田高等学校、安中総合学園高等学校との意見交換会を実施しました。この交流を通じて、生徒たちと議員との間で活発な意見交換が行われ、地域社会を担う若者との対話の重要性を再認識することができました。

今回の特集では、各高校との意見交換会の概要をお伝えします。

■新島学園高等学校 令和6年7月19日

生徒から「議員を目指したきっかけは何か？」との質問があり、教育への関心があったから、自分の育った地域に何か変化を起こしたかったから、などそれぞれの議員が自身の経験や思いを語りました。また、「市を良くするためにどんな政策を実施しているのか」との質問には、観光振興や公共交通、少子化など、各議員が関わっている取り組みについて説明しました。生



徒からは、地域の魅力を伝えるためにフォトスポットやインスタ映えする施設の設置が提案されました。さらに、若者の政治参加については



SNSの活用が注目される一方で、自分の目で情報を確認し、政策についてしっかり理解することの重要性も話し合われました。

■松井田高等学校 令和6年8月8日

高崎市議会との協力や市議会議員のやりがいについて質問が出されました。議員からは、高崎市議会とは消防組合などを通じて協力し、地域の問題について意見交換を行っているとの説明がありました。また、やりがいについては、市民からの要望に応じて地域の課題に取り組むことに喜びを感じているとの話がありました。その他にも、通学環境の整備やゴミのポイ捨て問題、プラスチックごみの増加やデポジット制度*の重要性について意見が交わされました。最後に、生徒たちの進路について話が及ぶと、イラスト関連の仕事や介護士、調理師、看護師など様々な将来像が語られ、議員からはエールが送られました。

■安中総合学園高等学校 令和6年10月21日

生徒から高齢者支援の重要性が提案され、議員は高齢者が快適に生活できる環境づくりが社会全体にとって不可欠であると回答しました。同時に、若者や子どもたちの環境も重要であり、

特に猛暑日の中での小中学校へのエアコン設置の必要性についても議員から話がありました。また、市民からの意見や要望の反映方法、学校前のバス停への椅子設置、市道や県道の草木管理、路線バスの運行本数についても話し合われました。選挙の投票率を上げる方法や候補者情報の取得についても意見が交わされ、SNSやインターネットのみに依存せず新聞など幅広く情報を得ることの重要性が指摘されました。議員からは選挙を通じて政治や行政に関心を持ってもらいたいとの意見が出されました。

今回の意見交換会を通じて、生徒たちと議員とのお互いの理解が深まり、より良い関係を築くことができました。今後もこのような交流を続けていくことで、地域社会全体の発展につなげていきたいと考えています。

デポジット制度…製品や容器の販売価格に預り金（デポジット）を上乗せして販売し、使用後に容器等を返却すると、預り金を戻す制度。ペットボトル容器などの回収率が上がり、リサイクルが進む。 (3)

こんなことを聞きました /

一般質問

一般質問とは…

市議会議員が市に対して行う質問です。
内容は提出議案にかかわらず、市政全般に及びます。このため、質問内容は議員により様々です。

皆さんの気になっていた質問、ご自身の生活に影響のある質問はありましたか？

今回の定例会では、13名の議員が33項目について質問をしました。

発言順に質問の要旨を掲載しています。

詳しい質問や答弁の内容は、質問者ごとに掲載している2次元コードからご確認ください。

質問項目の詳細は、以下のコードよりご覧いただけます。



一般質問通告一覧表のページを表示します。

・公害問題について

・ドッグランについて

公害問題、磯部の悪臭対策について質問しました。市は、今年度から外部機関に臭気の測定調査を委託しています。そして、10月下旬頃の測定で基準値（21）を上回る数値結果（24）がでました。ちょうどその時期は磯部でかなり強い悪臭が頻繁に発生していた時期と重なります。執行部は周辺事業者へ改善の依頼をし、今後も引き続き調査を行ない注視していくとのこと。しかし、長年被害を受け続けてきた磯部温泉街や周辺住民の気持ちを斟酌すれば、基準を上回る数値が出た以上、執行部は悪臭防止法に基づく勧告や命令等を早期に行うべきと考えます。これらの観点から質問をしました。

公設ドッグランについては、市民から設置要望を受けることが増えました。設置の可能性について質問し、クリーンセンター奥にある、現在は使用されていない少年野球場が適していると考え、提案させていただきました。



富岡市の公設ドッグラン



新風新政会
こばやし かつゆき
小林 克行



詳しい内容は
こちら

・安中市のハラスメントに対する対応、対策について

・カスタマーハラスメントに対する認識や現状、今後の対応について



清風クラブ
おがわ つよし
小川 剛



詳しい内容は
こちら

ハラスメントが発生すると、被害者の職員だけでなく、周囲の職員のモチベーションが低下しミス等が増えるなど、作業効率の悪化や生産性の低下、ひいては業績の悪化へつながります。また、ハラスメントを受けた職員がメンタルヘルス不調を患い、耐え切れず長期休職や退職する可能性が高くなります。相談体制や安中市で作成した、「ハラスメント防止ガイドライン」、教職員・碓氷病院のハラスメント対応等について聞きました。

近年、カスタマーハラスメント※が認知され、群馬県の知事部局職員5千人対象のアンケート調査では、3年間にカスハラを受けたことがあると約42%の職員が回答しました。

官民間問わずあらゆる職場で深刻な被害が出ており、群馬県は条例制定に向けた検討を始めています。本市の条例制定に向けた考えや公共サービス職場で働く市職員を不当なハラスメントから守る施策等について聞きました。



厚生労働省作成「カスタマーハラスメント対策啓発ポスター」

※カスタマーハラスメント…顧客や市民から、商品やサービスへの改善を求める正当なクレームがある一方、事実無根の要求や暴力的・侮辱的で理不尽な要求。

・食品ロス削減への推進について

・市営住宅について

食品ロス削減は、国連の持続可能な開発目標SDGsにもターゲットの一つとして掲げられております。2019年に「食品ロス削減推進法」が成立してから、5年となりますが、日本の食品ロス発生量は徐々に減少し、2022年度の食品ロスの推計値は、472万トンとなり推計を開始して以来、過去最少となりました。そして、2030年までに2000年度比の半分、約489万トンまで減らす政府目標を8年早く達成となりました。しかし、様々な理由により食べられるのに廃棄される食品は、依然として多いようであります。また、食品ロス削減は、気候変動対策としても大変に重要です。そこで、食品ロス

削減へのさらなる推進について、本市の取り組みを質問しました。

住み慣れた地域で、安全で安心して暮らせる住まい、住環境づくりは重要です。市営住宅の浴槽設備のない団地への浴槽設置についてや既存団地へのエレベーターの設置について、そして、今後の改修計画や共益費の徴収方法について質問しました。

また、保育現場の充実を図るために、保育ソーシャルワーカーの配置と保育現場のICT化の取り組みについて質問しました。



公明党
ながしま ようこ
長嶋 陽子



詳しい内容は
こちら

・ 耕畜連携について

・ 農福連携について



日本共産党安中市議団

はらだ だい
原田 大



詳しい内容は
こちら

一般的に「縦割り行政」と揶揄されるように、現在の行政課題の多くは複合的要因によるものであり、部門や担当者間の密なコミュニケーションによる連携の重要性が増しています。そこで農業にまつわる2つの「連携」を取り上げました。1つが稲作農家と畜産農家が連携し循環型農業と環境負荷軽減に大いに貢献できる「耕畜連携」そしてもう1つが農業と障害者福祉が連携することで、両者の課題が同時解決できる「農福連携」です。この2つの連携に共通するのが、いずれもこの言葉が生まれてから10年以上経過したにも関わらず、広がり欠けるという点です。2つの連携ともに理念は素晴ら

しいものの、このままでは一過性のもので終わってしまうという危機感を私は抱いています。担当の違う、立場の違うもの同士の連携は、意識して行わなければ前進できません。この2つの連携について、本市がどのように進めているのか質問しました。



農福連携の作業風景

・ 包括的性教育について

・ 市と民間との連携、協力体制について

包括的性教育とは、身体や生殖の仕組みだけでなく、人間関係や性の多様性、ジェンダー平等など幅広いテーマを含む教育で、性に関する自分たちの権利、社会の状況、構造を知り、その上で意思決定をしたり、自分たちの権利保障について意見表明をしたりして、自他の幸福を実現していくための手助けをすることを目指しています。子どもたちを性被害や性暴力の被害者や加害者、傍観者にしないためにも学校教育での指導や生命の安全教育、それらの研修等について伺いました。

持続可能な行政運営を行うためにも、行政と民間の垣根を越えて課題解決に向かうことの重要性を認識す

ることは、いまや必要不可欠です。現在行っている企業等との連携をさらに深めて新たな連携体制の構築を行い、企業や学校、医療福祉施設等の訪問を通して課題を整理し、市長自らが声を聞き、施策実現に取り組むよう質問しました。



企業との地域活性化に関する包括連携協定によるカーシェアリング



新風新政会
さとう たかお
佐藤 貴雄



詳しい内容は
こちら

・地域力向上ミーティングについて・女性防火クラブについて

・農業振興地域における耕作放棄地について



新風新政会
かない とみ お
金井登美雄



詳しい内容は
こちら

地域力向上ミーティングは、細野地区を皮切りに14地区で開催され、第三次総合計画を中心に本市が進めてきた取り組みや成果、今後の計画など市長自ら説明し意見交換が行われました。地域では特有の問題点や課題要望等がありますが、本市がそれをどのように捉え、改善点を示し市政に反映させていくのかについて質問しました。

女性防火クラブは、地域社会における防火防災の重要な役割を果たす組織です。全国的にも高齢化や働く女性が増え、行事や活動が縮小しています。より良い継続を図っていくためには、魅力的な環境を整える必要があります。これらのことから、

各地域における会員の現状や問題点、改善点について質問しました。

農業振興地域の耕作放棄地については、複雑で多面的な課題を含んでおり、社会全体で取り組む必要があります。中山間地域は、地理的条件が悪く、農業をする上で不利な条件の地域です。しかし、山地の農業は、全国の耕作面積の4割にあたり日本の農業の中で重要な役割を果たしています。多面的機能を有し国民の生活を守る上で大切な地域です。

このような観点で質問しました。

・スポーツ施設について

・まちづくりについて

1つ目の質問として、閉校後の体育館の使用について質問しました。閉校が増えてきたことから、使われていない体育館の利活用として格技場への転用の可能性について質問をしました。日本古来のスポーツは素足の競技が多いため、安全な競技場としての整備を求めました。

2つ目として、観光客向けのトイレの整備について、休憩場所のベンチの設置について質問しました。特に中山道の通り沿いにはトイレやベンチが少なく、その必要性を訴えました。

また、米山公園の整備状況についても質問をしました。10年前の一般質問でも同様の質問をさせていた

だき、整備は徐々に進んできていますが、未整備となっている公園内の池などの今後の計画について質問しました。



松井田北中学校の体育館



新風新政会
たつみ ひさ お
巽 久男



詳しい内容は
こちら

・アメリカシロヒトリ被害について・補助金の見直し基準について

・災害対策に係る職員の諸手当について



新風新政会
う さ み まこと
宇佐美 誠



詳しい内容は
こちら

まず、1点目にアメリカシロヒトリ被害についてです。市内の広範囲に被害が見受けられています。葉の食害があるほか、幼虫の見た目から大量発生する様子が嫌悪感を抱かれています。本市では、市ホームページ等での注意喚起や殺虫剤の配布などを行っていることから、被害の状況や対策などについて聞きました。

2点目として、補助金の見直し基準についてです。古い話ですが、平成24年に「補助金等交付指針」及び「補助金等見直し基準」が示されました。以降、補助金の見直しが随時行われています。他方、近年では、市民活動や地域活動の活性化などから、補助事業数が増加しているよう

に感じられるため、これまでの見直し経過や、交付事業の状況、これからの補助金のあり方について聞きました。

3点目として、災害対策に係る職員の諸手当についてです。令和6年9月の大雨による土砂被害では、避難場所開設など、複数の職員が動員命令に基づき出勤しました。この動員は、緊急呼出という考え方ですが、緊急呼出手当の支給対象外です。そこで、現在制度化されている緊急呼出や災害作業に応じた手当や時間外勤務手当などについて聞きました。

・第三次総合計画にある小中学校教育の充実について

・第三次総合計画にある防災・減災について

学校教育全体を通して、主体的・対話的な深い学びの視点で子どもたちに寄り添う授業づくりが大切です。さらに思考力、判断力、人間性を高めバランスよく育むことが重要であります。また老朽化した学校施設もあり、定期的な点検や計画的な改修修繕による長寿命化を図る必要があります。

次に防災・減災の推進ですが、全国で地震による災害、台風や極地的豪雨被害などが多発しており、地方公共団体として市民の生命を守るため様々な対策が急がれます。自分の命は自分で守る自助、自分たちの地域は自分たちで守る共助、行政など公的機関による支援公助の連携のも

と、危機管理体制の充実強化を図り市民と行政が一体となり防災体制を強化していく必要があります。以上のことを踏まえて質問を致しました。



読書は児童生徒の読解力を育成する



新風新政会
いまい としひろ
今井 敏博



詳しい内容は
こちら

・水道事業について

・高齢者対象のふれあいいきいきサロンについて



新風新政会
いけしま としあき
池島 利明



詳しい内容は
こちら

水道は、生活基盤として、経済活動や市民生活に欠かすことができませんが、水道事業を取り巻く環境は変化しています。事業開始から70年。安中市水道ビジョンの基本理念のもと、安定した水道水の供給に取り組まれています。水道事業には、持続的な経営確保と共に、経営を効率化するための施策の検討が求められています。新技術の調査研究や導入提案を含め、事業の現状を踏まえた今後の方針や実施計画などについて伺いました。

高齢者サロンは、現代社会を取り巻く様々な課題を予防・防止する機能を持った活動のひとつです。健康促進と共に、介護予防や認知症予防

などの促進も図られていますが、防災意識の向上促進や災害時の助け合いなどに繋がる活動でもあります。活動に際しては、寄り添いながら支援していくことが大切です。新たな活動プラン提案の必要性を含め、活動状況や支援状況などについて伺いました。



坂本浄水場

・計画的な水道施設の更新について

・危機管理体制の強化について

水道は、生命を維持していく上で最も重要であります。水道事業を取り巻く環境は大きく変化しており、水道管等施設の老朽化の進行、料金収入の減少など困難な課題に対応し、安定した水道水を提供していかなければなりません。市民が安心して水道を利用していただけるように、経年化が進む水道管等の施設の計画的な更新について質問しました。

危機管理体制の強化は、災害などで断水が発生した場合、飲料水や生活用水を供給することは重要であります。災害時における給水車の不足が大きな課題であり、給水車の状況と今後の計画について質問しました。また、避難所等に飲料水や生活用水

を効率的に提供するための、組み立て式給水タンクの配備について質問しました。

その他、市営すみれヶ丘霊園について、高齢者の生活支援として、ごみ出し支援について質問しました。



災害時の給水活動を担う給水車



清風クラブ
やなぎさわ ひろゆき
柳沢 浩之



詳しい内容は
こちら

・認知症への知識や理解を深める取り組みの推進について

・ディスレクシアへの適切なサポート体制について



公明党
むしゃ ようこ
武者 葉子



詳しい内容は
こちら

65歳以上の人口がピークを迎える2040年には、認知症高齢者が約584万人、軽度認知症高齢者が、約612万人に上ることが推計されている中で、誰もが認知症になり得るという認識のもと、共生社会の実現を加速させることが重要です。

認知症の人を、単に支える対象として捉えるのではなく、一人の尊厳のある人として、その個性と能力を十分発揮しながら、共に支え合って生きる共生社会の実現を目指し、本年1月に認知症基本法が施行されました。

特に地方公共団体は、認知症の人やその家族等にとって身近な行政機関であるとともに、認知症施策を具

体的に実施する重要な役割を担っています。本市の取り組みを伺いました。

発達性読み書き障害であるディスレクシアは、学習障害の一つのタイプで、全体的な発達には遅れがないのに文字の読み書きに限定した困難があり、そのことによって学業不振が現れたり、二次的な学校不適応などが生じる疾患です。適切なサポート体制を伺いました。

・えるぼし、くるみんの普及啓発について

・デマンドタクシーについて・補聴器の補助事業について

少子化を食い止めるために何を優先すべきかといった観点で、企業が女性の働き方を変えていくために「えるぼし*」、「くるみん*」という女性が活躍できる職場を整えることを厚労省が認定する事業などについて聞きました。女性が男性と対等に働けて、結婚しても昇進や子育てしても差別されずに、管理職としてキャリアを積むことが保障される。こうした職場環境を整えていくことが日本のジェンダーギャップを解消していくことであり、加えて少子化にも歯止めをかけることができる道ではないでしょうか。

10～11月に旧松井田町で実証実

験が行われた「AIデマンドタクシー事業」は2か月だけでなく、継続するように、結果と今後の取り組みについて聞きました。

加齢に伴う難聴者のための「補聴器」の購入補助について聞きました。難聴で会話に困難を抱えると、社会的交流が減少して引きこもりが増え、認知症高齢者が増加するとされています。県内ではすでに12市町村で補助事業があります。



くるみんマーク



日本共産党安中市議団

かない ひさお
金井 久男



詳しい内容は
こちら

※えるぼし…女性の活躍促進に関する取組が優良である等の一定の要件を満たした事業主を厚労大臣が認定するもの。

※くるみん…次世代育成支援対策推進法に基づく認定制度で一定の基準を満たした企業が申請を行うことで子育てサポート企業として厚労大臣が認定するもの。

議

案

解

説

主な審議結果を解説



令和6年安中市議会第4回定例会は、11月29日から12月13日までの15日間の会期で開催され、市長から5議案、議会から3議案、合計8議案が提出されました。

今号では、その中から2議案を解説します。審議結果一覧は12ページに掲載しています。なお、今回から請願審査結果についても掲載いたします。



議案第97号 あんなかスマイルパーク条例の一部を改正する条例について

あんなかスマイルパークの利用料が改正されます

あんなかスマイルパークの利用料について、近年の施設利用実績や遊具整備に応じた所要の改正を行います。

改正後の利用料について、一部を掲載します。

なお、今回の改正は、令和7年4月1日施行予定です。



施設名		利用時間の区分※			
		午前	午後1	午後2	夜間
スマイル棟	エントランスホール	500円	500円	500円	750円
	研修室	500円	500円	500円	750円
	多目的室	500円	500円	500円	750円
	みんなのキッチン	500円	500円	500円	750円
	屋外活動スペース	500円	500円	500円	750円
イベント広場		利用面積1㎡当たり1日10円			

今回の改正で、夜間利用料金が変更になりました。
※午後1…12:00～15:00 午後2…15:00～18:00

議会議案第6号 奨学金返還の負担軽減の対策を求める意見書

安中市議会は奨学金返還の負担軽減を求めます

日常生活への影響と長期にわたる奨学金返済

令和5年度の日本の大学における授業料の年間平均は、国立大学が535,800円、公立大学が536,191円、私立大学が959,205円となっています。

労働者福祉中央協議会が令和6年6月に実施した調査*によると、日本学生支援機構の貸与型奨学金を利用した人の約半数が、返済が「日常的な食事」に影響している、約4割が「医療機関の受診」にも影響していると回答がありました。さらに、40～45歳の年齢層では、返済を終えた人が3割未満であることが明らかになり、奨学金返済が長期間にわたり生活設計に大きな負担を与えている現状

が浮き彫りになっています。

※高等教育費や奨学金負担に関するアンケート

出典元URL <http://www.rofuku.net/20241018/>

国会及び政府に対策を求める意見書を提出

安中市議会は、下記の対策を求める意見書を提出しました。

1. 給付型奨学金の対象を拡大するほか、返済中のものも含め、すべての奨学金を無利子とすること。
2. 奨学金の返還にあたり、減免制度、返済猶予、返還金の財政支援などを充実すること。

令和6年第4回定例会 議員個人の賛否結果一覧表

議 案 名		議席番号																				結果
		議 員 名																				
		原田大	金井久男	宇佐美誠	池島利明	長嶋陽子	武者葉子	金井登美雄	小林克行	巽久男	壘次雄	松本次男	小川剛	櫻井喜久江	小林訂史	佐藤貴雄	今井敏博	吉岡完司	柳沢吉保	柳沢浩之	高橋由信	
承第5号	専決処分の承認を求めることについて 令和6年度安中市一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
議第96号	安中市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議第97号	あんなかスマイルパーク条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議第98号	令和6年度安中市一般会計補正予算（第5号）	×	×	×	○	○	○	○	○	○	－	○	○	×	○	○	○	○	○	×	可決	
議第99号	令和6年度安中市病院事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議会議案第5号	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書（案）	×	×	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議会議案第6号	奨学金返還の負担軽減の対策を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議会議案第7号	持続可能な学校の実現を目指す意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
請第2号	株式会社ジョウソウによる岩野谷地区への一般及び産業廃棄物（管理型）最終処分場の設置に関する請願	×	×	×	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	×	×	×	○	×	趣旨採択※1	
請第3号	小竹地区内道路拡張に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続審査※2	

※議長は、採決に加わらないため「-」としています。 【○：賛成 ×：反対 除：除斥 欠：欠席】
※1 趣旨採択：請願の願意は妥当であるが、様々な理由により願意を実現することが当面の間困難である場合に、「趣旨には賛成」とする議決。
請願第2号の賛否はあくまでも趣旨採択に対するものであり、○は趣旨採択に賛成、×は趣旨採択に反対となります。
※2 継続審査：会期中に議決されなかった議案を次の会期で引き続き審査すること。

議会の報告と市民の皆様からのご意見 議会報告会を開催

10月23日と25日の2日間、市民を対象とした議会報告会を松井田文化会館及び安中市文化センターで開催しました。両日あわせて38名の市民の方々に参加していただきました。

報告会では、9月議会の議決結果、行政視察に関すること、議会に関する情報発信

の重要性を報告し、市民の皆様からは、農業の担い手不足、道の駅の活用など、多くのご意見が寄せられました。

安中市議会では、今回の議会報告会を貴重な機会として、今後の議会運営に活かしていきたいと考えています。



10月23日 松井田文化会館



10月25日 安中市文化センター

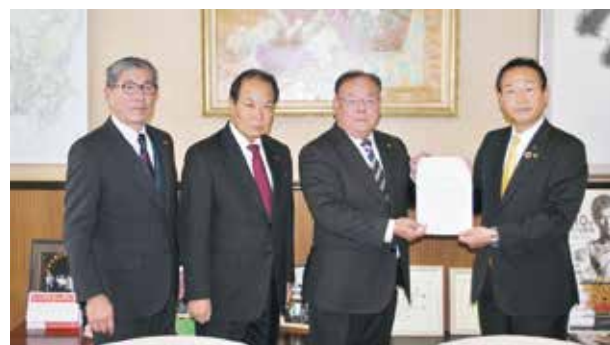
公共交通対策特別委員会 市長へ要望書を提出

令和5年9月「市民生活の利便性等を高めるための公共交通機関の諸課題について調査を行う」ことを目的に、公共交通対策特別委員会が設置されました。以来、18回にわたる委員会での議論、各種現地調査、安中市区長会代表理事会との意見交換など、様々な視点から積極的な調査を行いました。

これらの調査研究結果を、令和6年第4回定例会で報告後、市長に要望書を提出しました。

要望書におきましては、JR信越線の拡充、路線バスの見直し、乗合タクシーやAI新交通の推進など、実地調査に基づき把握した事項を要望しました。

公共交通は市民の生活を支えるものであり、経済、観光、福祉など、様々な施策と関連しています。議会としましては、今回の調査研究結果を活かし、今後も公共交通の調査・検証を行ってまいります。

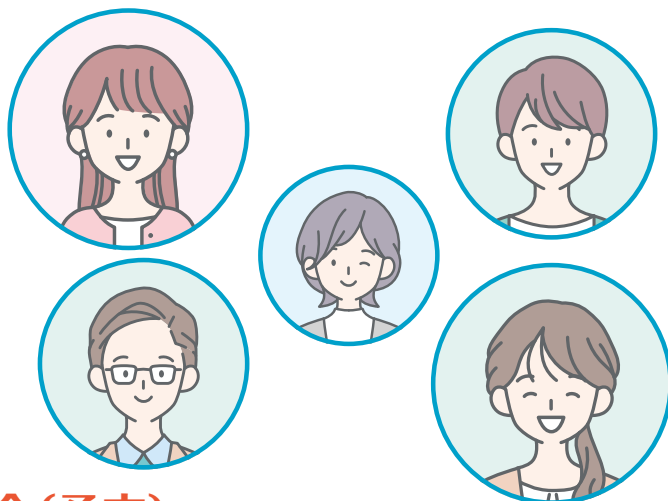


市長に要望書を提出。
左から壘議長、吉岡副委員長、柳沢委員長



これまでの調査研究と要望事項を市長に説明

議会を傍聴 しませんか



次の定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
			2/26 本会議 開会 9:30~	27 本会議 施政方針等 9:00~	28	3/1
2	3	4 総務文教常任委員会 9:00~	5 福祉民生常任委員会 9:00~	6 経済建設常任委員会 9:00~	7	8
9	10 予算審査特別委員会 9:00~	11 予算審査特別委員会 9:00~	12 予算審査特別委員会 9:00~	13	14	15
16	17 本会議 一般質問 9:00~	18 本会議 一般質問 9:00~	19	20	21 本会議 閉会 9:00~	

傍聴のご案内

- 本会議の受付所 旧庁舎3階 議場前
- ① 傍聴受付用紙に住所・氏名を記入
- ② 傍聴受付用紙を受付BOXへ入れ入場
- ※ 議案書の貸し出しをしています(先着5名)
- ※ 入退場自由/定員32人

ネットでも視聴できます

- 本会議の様子をスマホやタブレット等で視聴できます(ライブ中継・録画視聴)。
- 本庁舎1階ロビーでも生中継



映像配信は
こちら

安中市議会 公式YouTubeチャンネルのご案内

安中市議会では、常任委員会や高校生との意見交換会、議会報告会など、市議会の活動や取り組みをYouTubeで紹介しています。公式YouTubeチャンネルは右の二次元コードからご覧ください。



映像配信は
こちら

災害時等の緊急情報伝達手段について

安中市では、災害発生時や災害が発生する恐れのある場合に、様々な方法により緊急情報等をお伝えしています。防災行政無線の他、メール配信サービスや公式LINEでも情報を発信しています(右のコードからご登録いただけます)。この他にも高齢者等緊急情報配信サービスや公式Xなど、広く情報発信をしています。1つの方法に絞らず、様々な手段で情報を収集し、安全を確保しましょう。 岡本庁舎 危機管理課危機管理係(内線1131)



メール配信
サービスの
登録はこちら



公式LINEの
登録はこちら



委員長 柳沢 浩之/副委員長 池島 利明
原田 大/宇佐美 誠/長嶋 陽子/金井登美雄/松本 次男/櫻井喜久江